

# 金沢歌劇座について

令和2年7月2日  
まちづくりにおける公共施設  
再整備等に関する特別委員会資料  
都市政策局企画調整課

## 1. 現況

### (1) 建物概要

所在地	下本多町6番丁27-6	高さ	21.1m
敷地面積	9,288.66㎡	座席数	1,919席(大ホール)
建築面積	4,767.75㎡	設計	日建設計工務株式会社
延べ床面積	10,777.92㎡	監修	谷口吉郎
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階		
建築	本館：昭和37(1962)年、別館：昭和45(1970)年		

### (2) 都市計画関連

区域区分	市街化区域	容積率	300%
用途地域	近隣商業地域	防火地域	準防火地域
建ぺい率	80%	高度地区	18m

## 2. これまでの議論の経緯

### ・平成30年度 金沢歌劇座機能強化検討懇話会

金沢歌劇座の現施設を基本とした機能強化策を検討するとともに、周辺交通量調査や施設整備に伴う影響調査などを実施

### ・令和元年度 金沢歌劇座あり方検討懇話会

本市における芸術文化の拠点に求められる機能などの観点から、歌劇座の将来あるべき姿について検討

- ・本市の芸術文化拠点に求められる3つの機能(①質の高い芸術に触れる場 ②芸術文化活動を発表・披露する場 ③交流する場)を満たすため、整備区域等に係る課題の解決を図った上で、金沢歌劇座を建て替えるべきである。
- ・整備に際しては、周辺の土地利用との整合を図りつつ、「本多町芸術文化ゾーン」の価値向上を目指すことが望ましい。

## 3. 課題

### (1) 整備区域

#### ①高さ制限

芸術文化ホールに求められる機能を満たすために、必要な建物の規模を設定した上で、地下化など、高度地区18mの規制に対応していくための検討を要する。

#### ②敷地

芸術文化ホールに求められる機能を確保するために必要なスペース、付帯設備を設けるにあたり、当該敷地内で配置が可能か検討を要する。できない場合は、周辺敷地をどのように活用するか検討が必要である。

### (2) 周辺エリアにおける位置づけ

美術館やホールなどが集積する金沢歌劇座周辺を「本多町芸術文化ゾーン」とし、歌劇座を核として、当該エリアの価値向上を目指すためには、周辺の今後の土地利用との整合を図っていくことが必要不可欠である。

### (3) 会議機能の検討

現在の金沢歌劇座の会議棟における会議室は、会議のほかホール利用者の楽屋等にも供されている。芸術文化ホールの整備にあたり、会議室の機能、楽屋・リハーサル室の機能のバランスをみながら、会議機能の規模のあり方について検討する。

### (4) 財源の確保

金沢歌劇座を建替える場合には、相当額の事業費が見込まれ、制度上、国の補助金や交付金が見込まれないことから、整備スキームについて検討するとともに財源の確保を最優先に、予算の平準化を図る必要がある。

## 4. 今後の予定

### ・技術的な検討

整備区域の設定と、あり方検討懇話会で示された歌劇座に求められる3つの機能を満たすための施設規模を設定し、高さや敷地、財源の確保などの課題解決に向けて技術的な検討を進めていく。

### ・本多町芸術文化ゾーンの価値向上に向けた検討